

○全国学力学習状況調査（6年）

国語	全体平均 正答率	言葉の特徴	情報の 扱い方	話す・聞く	書く	読む
新小	67.0	70.9	72.8	70.6	17.6	71.6
埼玉県	68.0	72.8	64.4	73.9	26.1	72.5
全国	67.2	71.2	63.4	72.6	26.7	71.6
算数	全体平均 正答率	数と計算	図形	変化関係	データ活用	*
新小	58.0	60.5	45.2	70.2	57.4	*
埼玉県	62.0	67.1	47.8	71.0	66.3	*
全国	62.5	67.3	48.2	70.9	65.5	*

【国語】正答率は、全国平均及び県平均とほぼ同水準の結果が得られましたが、「書く」に関する正答率が平均を下回る結果でした。この出題意図は、図や表・グラフ等を読み解いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうか、思考力・判断力・表現力を用いて記述により解答する設問です。

【算数】全体的には全国平均・県平均とほぼ同水準の結果が得られましたが、問題形式別では、「数と計算」「データ活用」が平均を下回る結果となりました。この出題意図は、与えられた式の解法（アルゴリズム）を記述して解答すること及びグラフを読み取り、言葉と式を用いて記述により解答する問題です。

このことから、本校の課題は、考えや解答の仕方を分かりやすく伝わるように言葉で伝える表現力や語彙力に課題があることが明らかになりました。本校では、国語科の学習を中心に“自分の考えを発信できる新小っ子”をテーマに据え、表現力の向上に視点を置いた授業改善を全校的に推進しています。教職員の研鑽を引き続き継続していくと共に、児童の学力向上を適切に支援していきます。

○ 埼玉県学力学習状況調査（4～6年）

教科		4年生		5年生		6年生	
		正答率	学力の 伸び	正答率	学力の 伸び	正答率	学力の 伸び
国語	新小	63.0	*	65.0	4	60.1	3
	狭山市	61.6	*	63.9	4	60.7	3
	埼玉県	63.6	*	62.7	3	60.8	2
算数	新小	64.5	*	72.7	4	54.8	1
	狭山市	63.4	*	65.2	2	54.7	1
	埼玉県	63.9	*	63.0	2	56.5	1

※4年生は調査初年度のため「学力の伸び」は分析されていません。

【4年生】正答率は市平均・県平均とほぼ同水準の結果が得られました。今年度の児童の学習のがんばりをしっかりと支援し、来年度の調査において着実に学力の伸びを実感できるように引き続き取り組んでいきます。

【5年生】正答率は市平均・県平均を上回っている結果が得られました。また、学力の伸びが大きく確実に学習内容が定着しています。数値結果に楽観することなく学習指導を継続していきます。

【6年生】正答率は市平均・県平均とほぼ同水準の結果が得られました。算数の学力の伸びがやや小さい結果ですが、学習内容の難易度が上がっていることに加え、学力の上位層と下位層の差が広がっていると捉えることができます。換言すれば、まだまだ“伸びしろ”があり、児童のがんばりに期待しています。学力の底上げを図って学習指導を継続していきます。